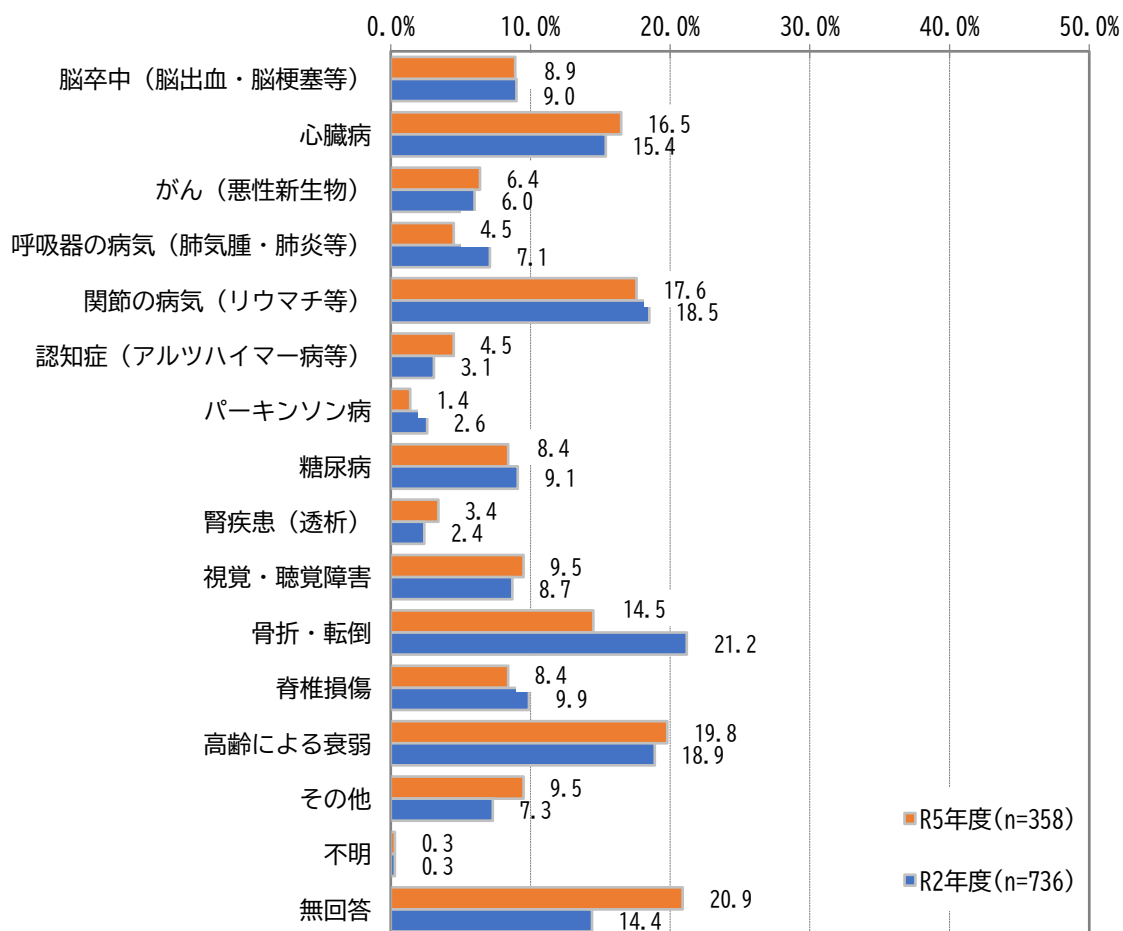
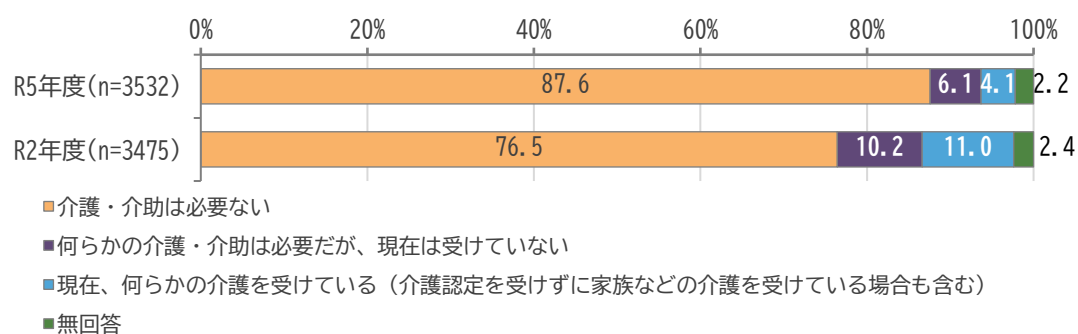


(1) 草津市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（概要）

1. 介護の状況について

(1) 介護・介助が必要になった主な原因

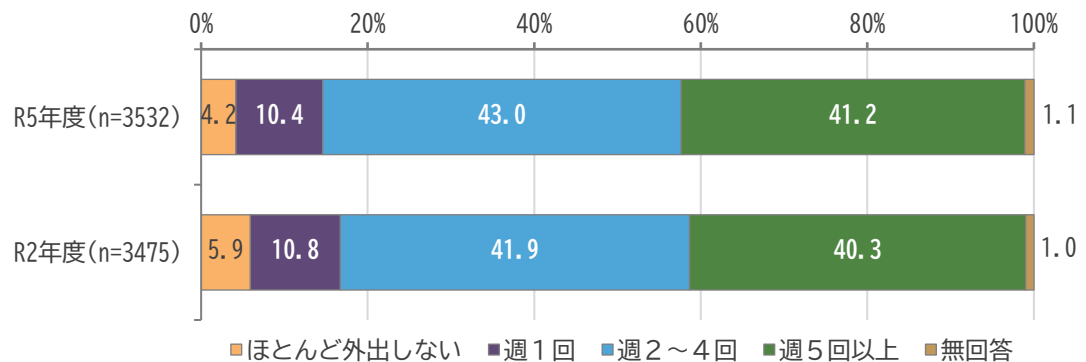
○約 10%の人が普段の生活で介護・介助が必要と回答しており、介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が 19.8%、「関節の病気（リウマチ等）」が 17.6%、「心臓病」が 16.5%、「骨折・転倒」が 14.5%となっています。前回調査時では、約 21%の人が普段の生活で介護・介助が必要と回答しており、約 11%減少しています。



2. 外出の状況について

(1) 外出の頻度

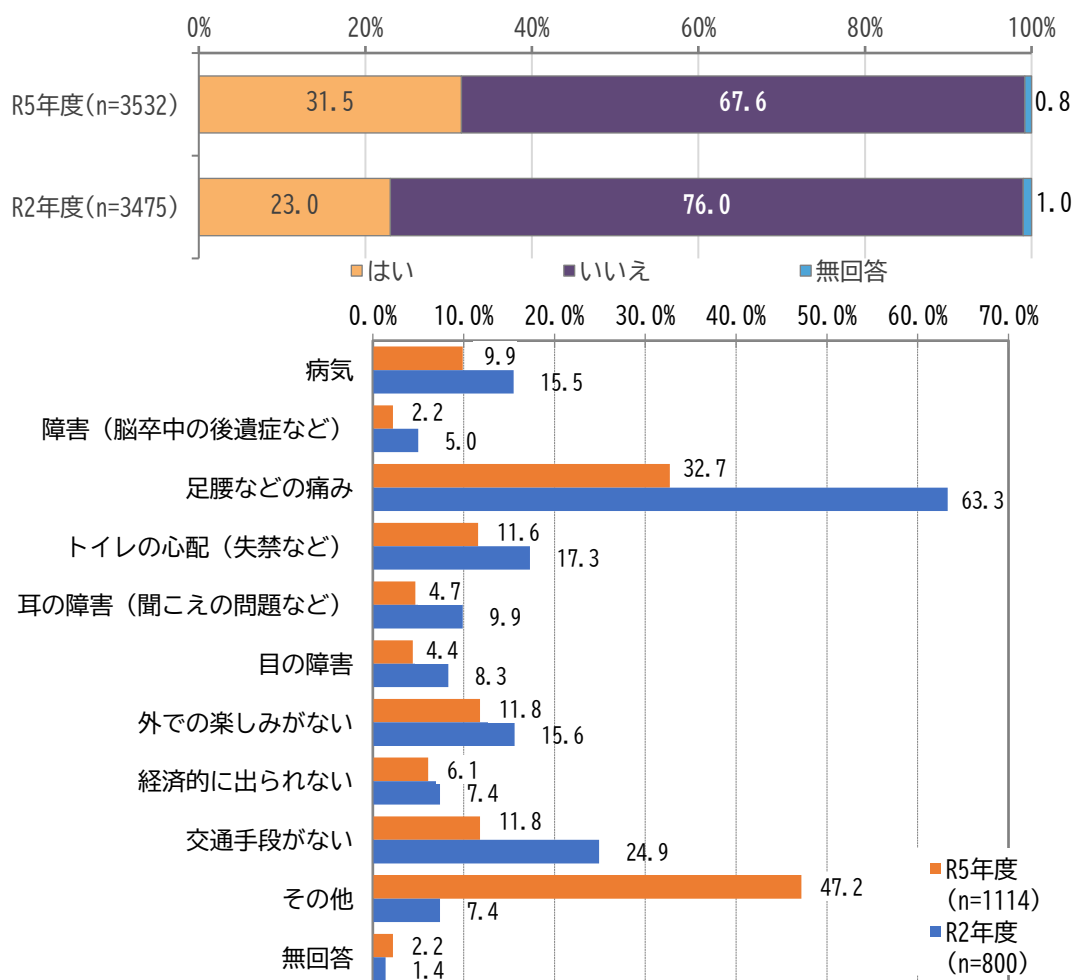
○週2回以上外出する人は全体の84.2%になり、うち41.2%の人が週5回以上外出しています。



(2) 外出への意識

○意識的に外出を控えている人が31.5%おられ、前回調査と比べて約10%増加しています。

○外出を控えている理由としては、「足腰などの痛み」が32.7%と最も多いですが、前回調査時と比べると約30%減少しています。また、「その他」が大きく増加しています。

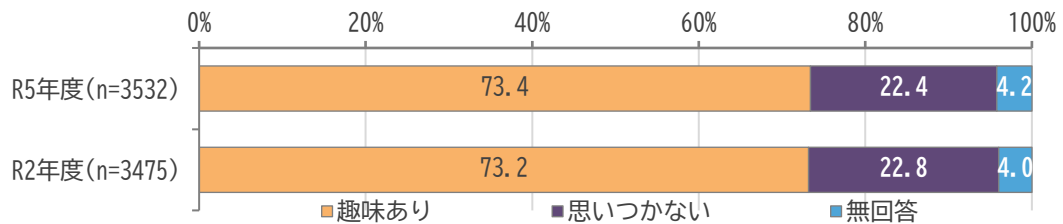


3. 毎日の生活について

(1) 趣味

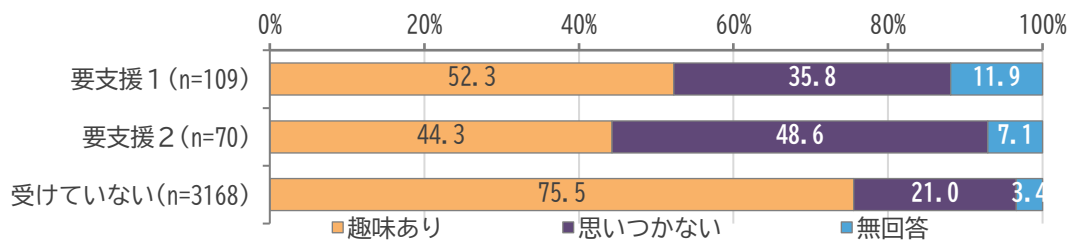
○趣味があるかについては、「ある」が73.4%、「思いつかない」が22.4%となっています。

○要介護度別にみると、要介護度が高くなるほど趣味がある人が少なくなっています。

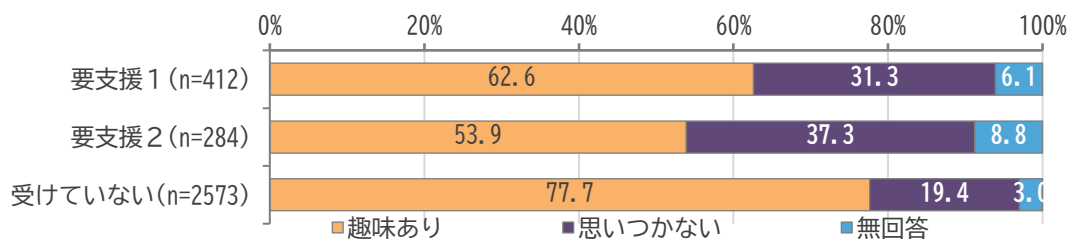


○要介護度別

【令和5年度】



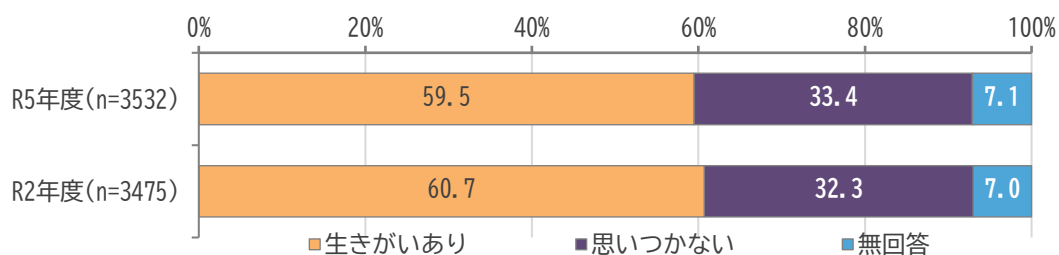
【令和2年度】



(2) 生きがい

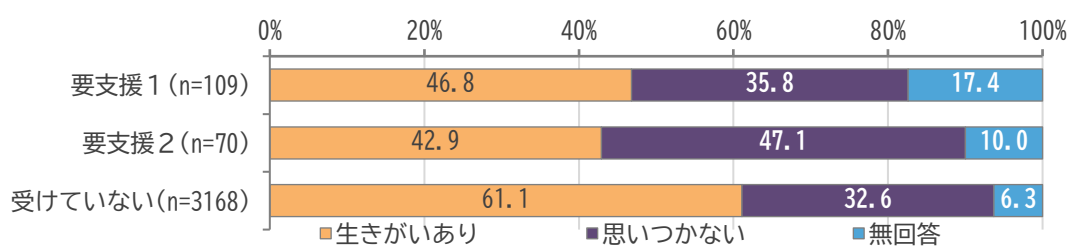
○生きがいがあるかについては、「ある」が 59.5%、「思いつかない」が 33.4%となっています。

○要介護度別にみると、認定を受けている人は認定を受けていない人と比べて生きがいがある人が少なくなっています。

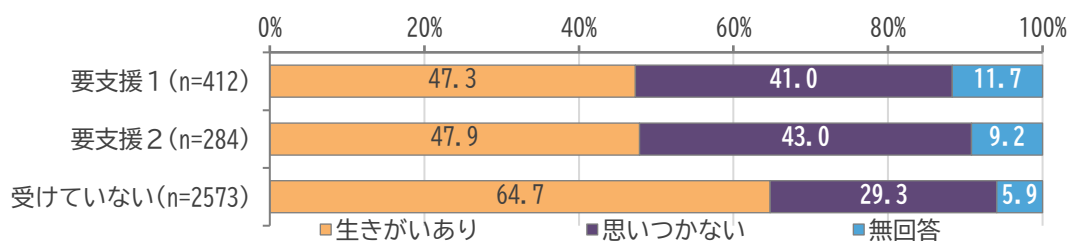


○要介護度別

【令和5年度】



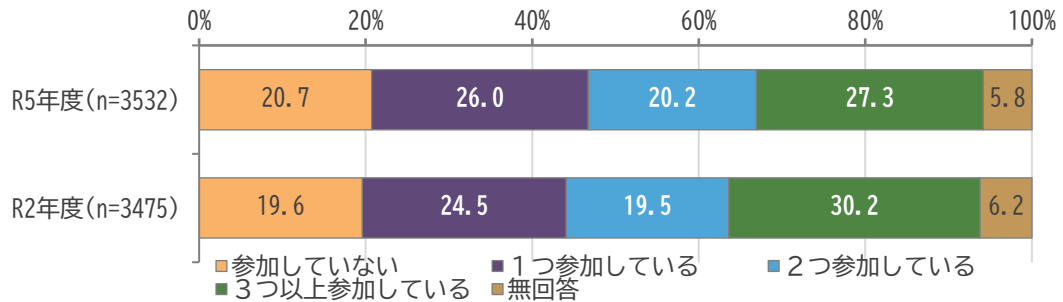
【令和2年度】



4. 地域での活動について

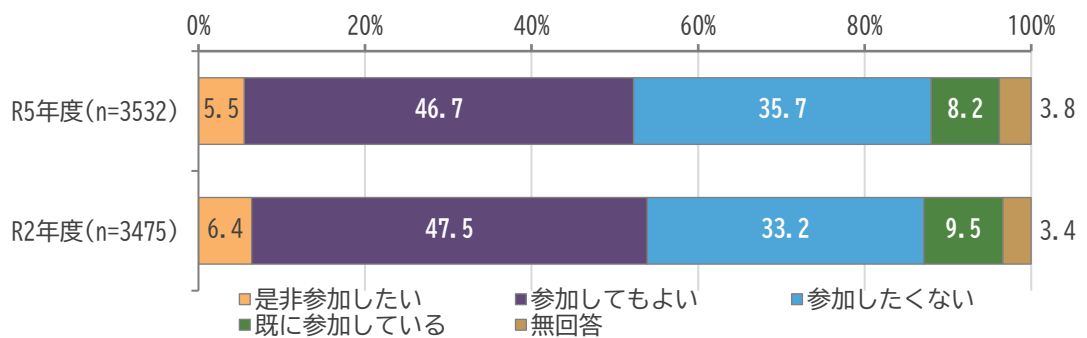
(1) 地域の会・グループ等への参加頻度

○地域の会やグループ等に年に数回以上参加している人は、73.5%であり、参加していない人は20.7%となっています。

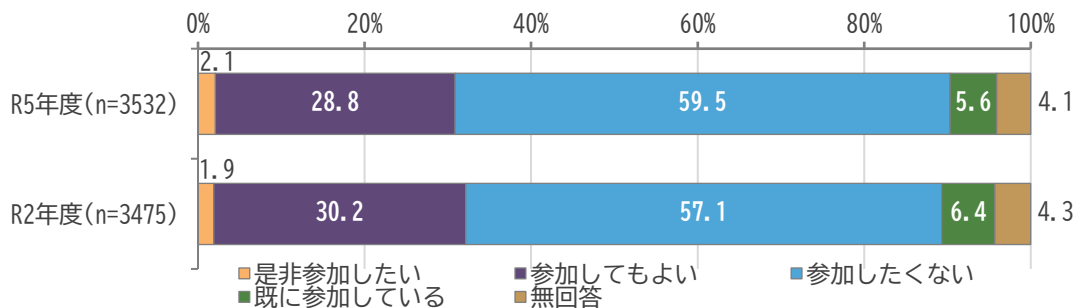


(2) 地域の会・グループ等への参加意向

○52.2%の人が、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと回答しています。



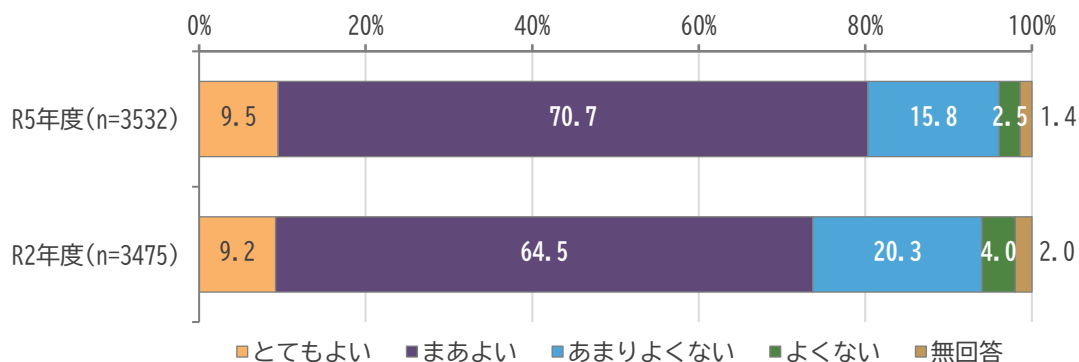
○一方、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたい人は全体の30.9%、既に参加している人は5.6%にとどまり、59.5%の人が参加したくないと回答しています。



5. 健康について

健康状態

○現在の健康状態については、「よい」と回答した人が 80.2%、「よくない」と回答した人が 18.3%となっています。前回調査時では、「よい」と回答した人 73.7%、「よくない」と回答した人が 24.3%だったことから、「よい」と回答した人が 6.5%増加しています。



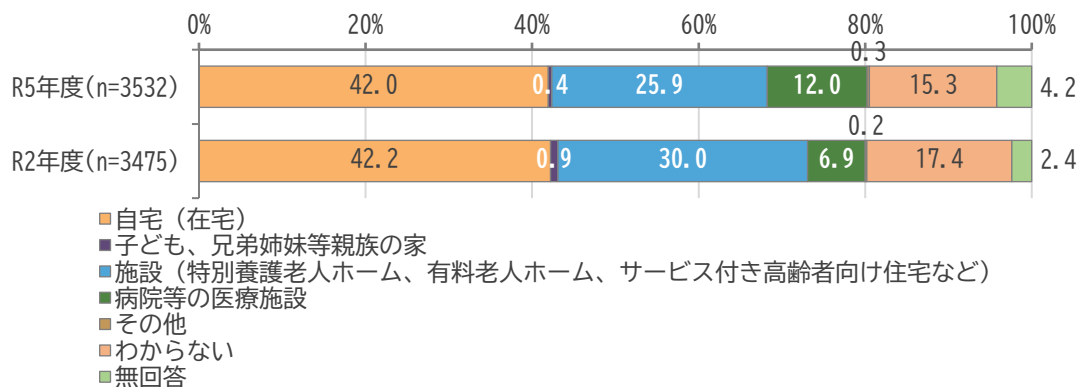
6. 介護保険サービスについて

(1) 介護を受けたい場所

○介護が必要となった場合に介護を受けたい場所は、「自宅（在宅）」が 42.0%と最も多く、次いで、「施設（特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など）」が 25.9%となっています。

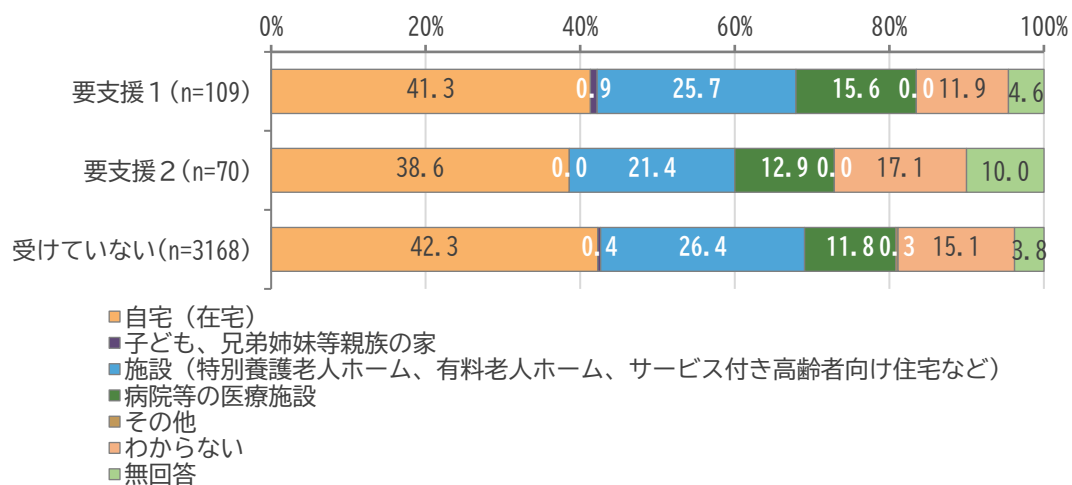
○要介護度および要介護を受けていない人、すべての区分で「自宅（在宅）」が最も多くなっています。

※R2 年度では個別に集計されていた「有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅を含む）」「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設）」を比較用に合計しています。

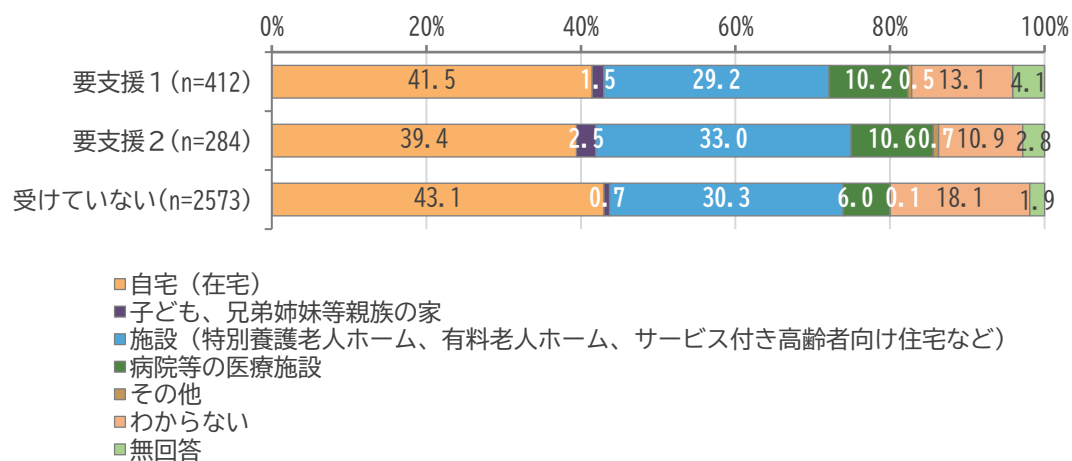


○要介護度別

【令和5年度】



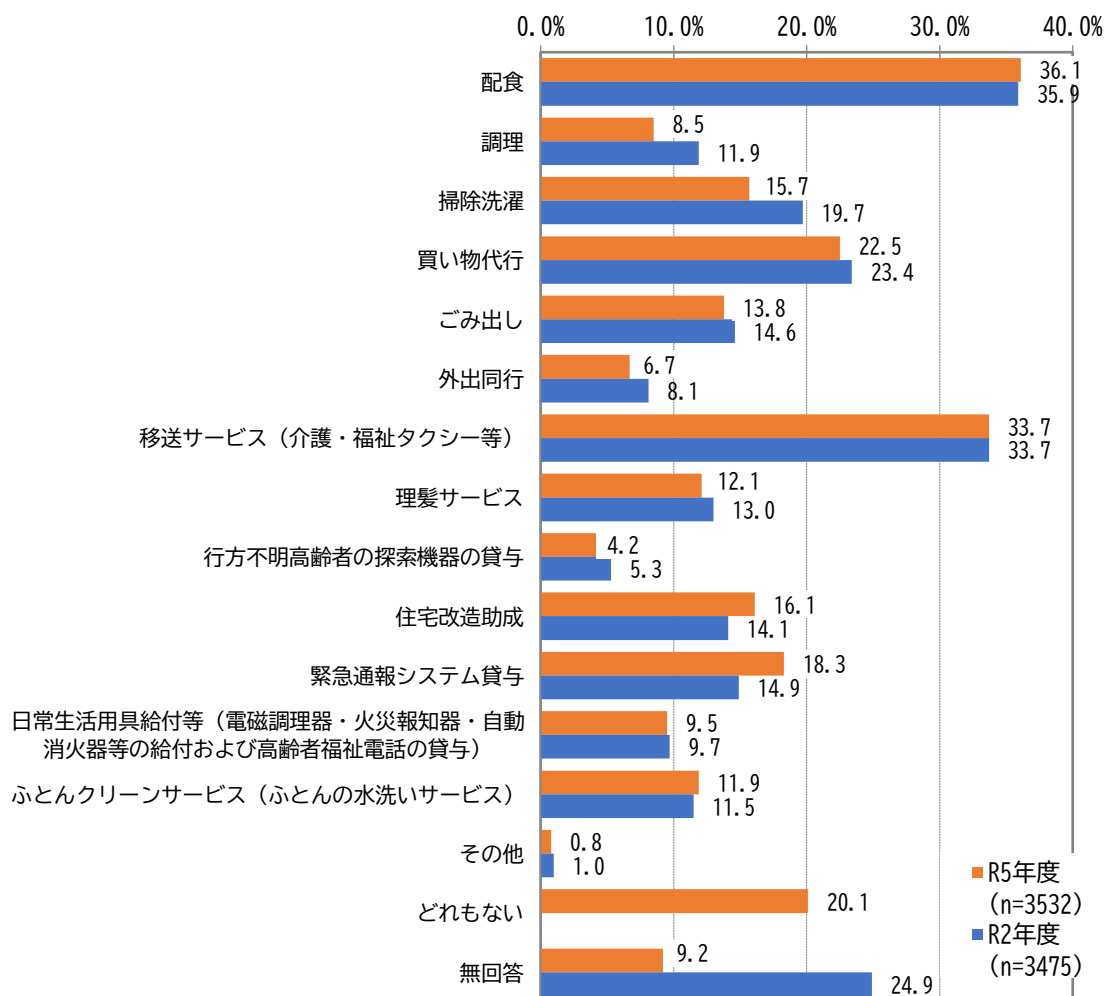
【令和2年度】



7. その他

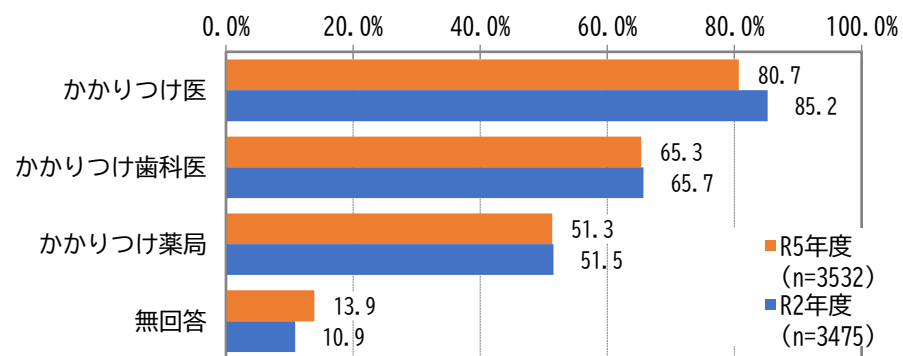
(1) 介護保険制度外の高齢者福祉サービスで利用したいもの

○在宅生活続ける上で、現在もしくは今後利用したいと思う有償サービスや取組については、「配食」が36.1%と最も多く、次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.7%、「買い物代行」が22.5%となっています。



(2) かかりつけ医の有無

○かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医」がある人は80.7%、「かかりつけ歯科医」がある人は65.3%、「かかりつけ薬局」がある人は51.3%となっています。

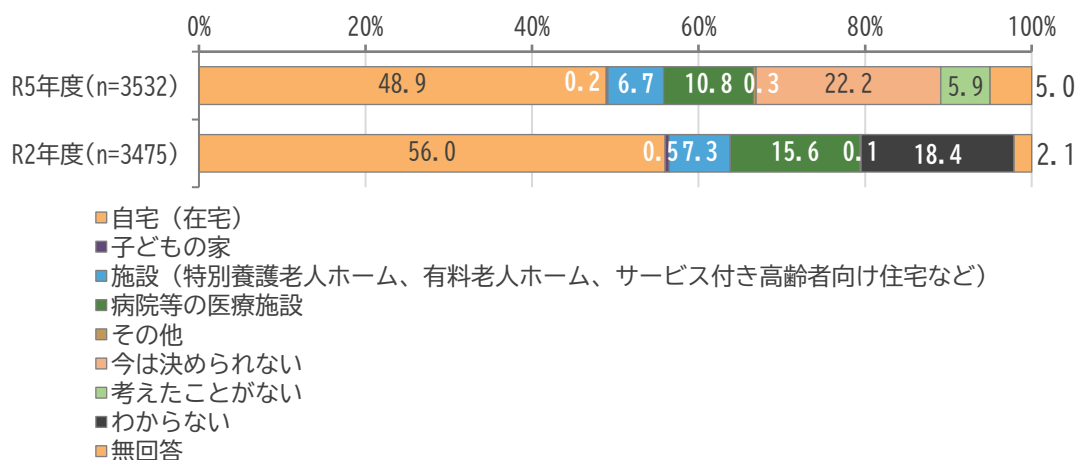


(3) 人生の最期をどこで迎えたいか

○人生の最期を迎えたい場所は、「自宅（在宅）」が48.9%と最も多くなっています。

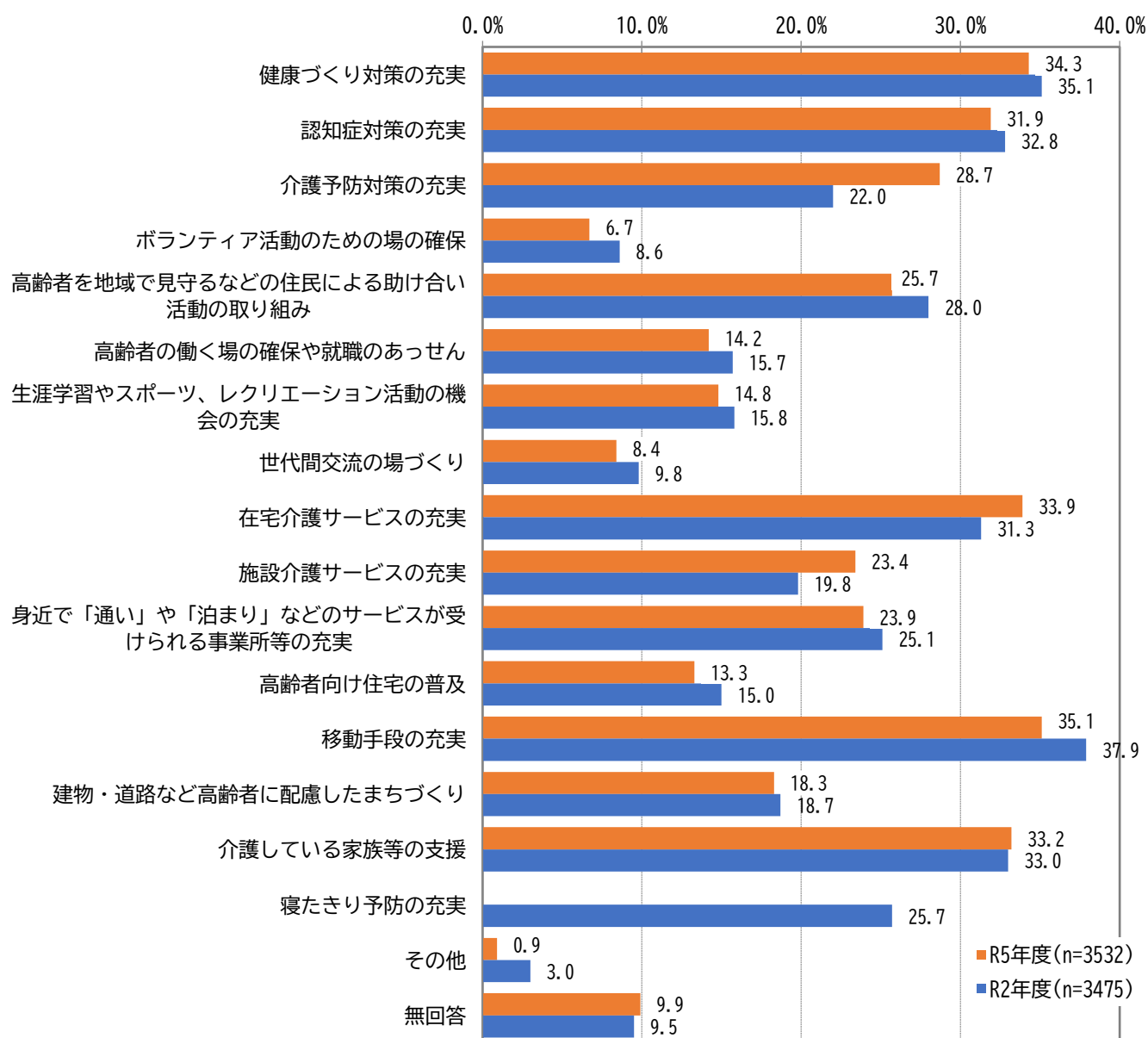
※R2年度では個別に集計されていた「有料老人ホーム（サービス付き高齢者向け住宅を含む）」「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設）」を比較用に合計しています。

また、「今は決められない」「考えたことはない」の選択肢は令和5年度からで、反対に令和2年度にあった「わからない」の選択肢は令和5年度からはなくなっています。



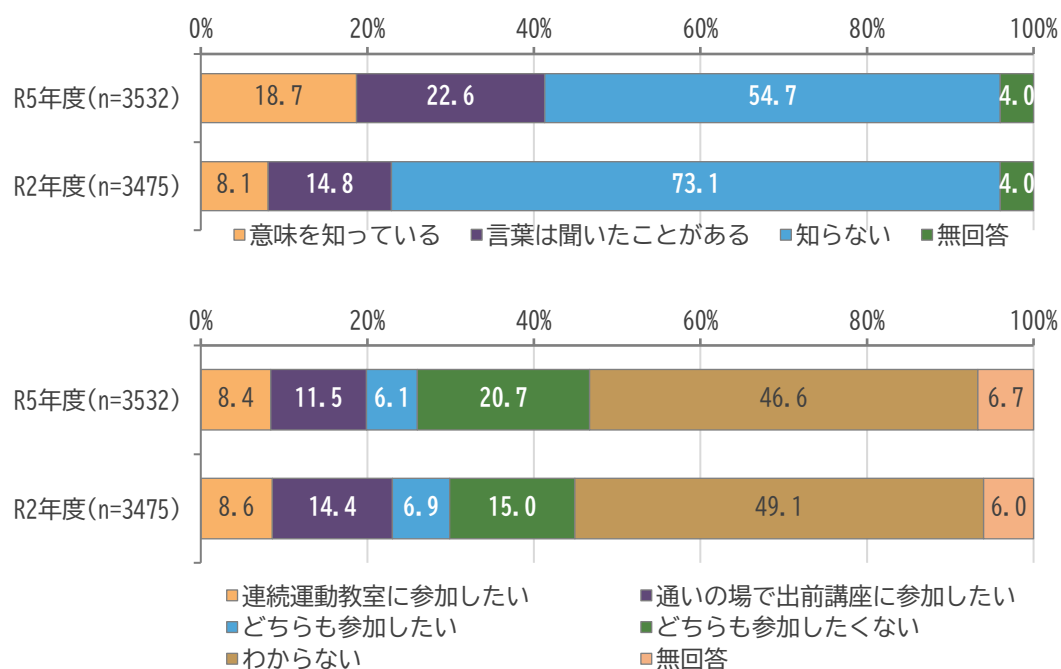
(4) 重要と思う施策

○高齢者福祉について、今後重要と思う施策は、「移動手段の充実」が35.1%と最も多く、次いで「健康づくり対策の充実」、「在宅サービスの充実」、「介護している家族等の支援」、「認知症対策の充実」の順番となっています。



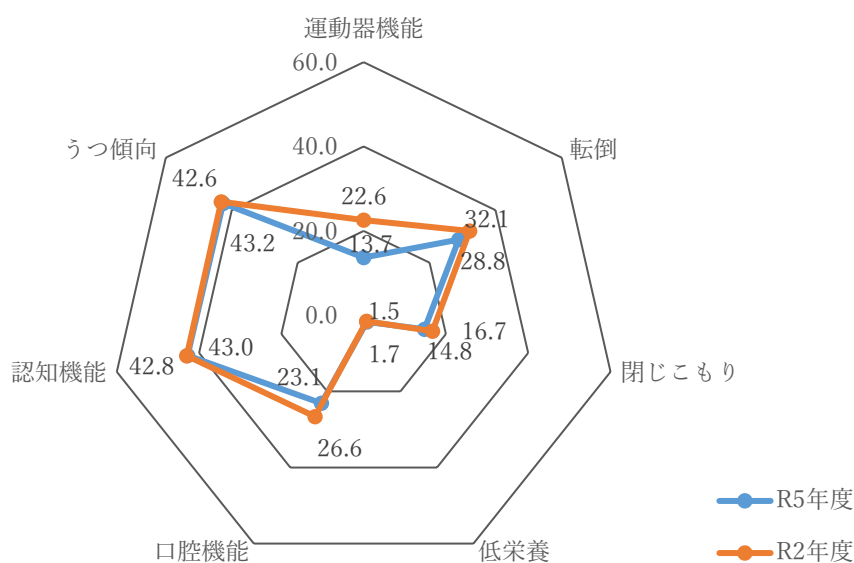
(5) フレイル予防事業について

○「フレイル」について、「知っている」が18.7%、「言葉は聞いたことがある」が22.6%となっており、前回調査時は「フレイル」について、「知っている」が8.1%だったことから、10.6%増加しています。フレイル予防事業への参加意向としては「わからない」が46.6%と多く、参加したいと回答した人は26.0%となっています。



8. リスク分析

○各有リスク者割合について、「運動器機能」が13.7%、「転倒」が28.8%、「閉じこもり」が14.8%、「低栄養」が1.7%、「口腔機能」が23.1%、「認知機能」42.8%、「うつ傾向」が42.6%となっています。前回調査時は「運動器機能」が22.6%、「転倒」が32.1%、「閉じこもり」が16.7%、「低栄養」が1.5%、「口腔機能」が26.6%、「認知機能」43.0%、「うつ傾向」が43.2%だったことから、低栄養以外では概ねリスク者の割合は減少しています。



分析項目	設問	回答	該当条件 (リスクあり)
運動器 機能	問2(1) 階段を手すりや壁をつた わらずに昇っていますか。	3. できない	5項目中3つ以 上該当する場合 は、運動器機能 の低下リスクあ り
	問2(2) 椅子に座った状態から何 もつかまらずに立ち上がって いますか。	3. できない	
	問2(3) 15分位続けて歩いてい ますか。	3. できない	
	問2(4) 過去1年間に転んだ経験 がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある	
	問2(5) 転倒に対する不安は大き いですか。	1. とても不安 である 2. やや不安で ある	
転倒	問2(4) 過去1年間に転んだ経験 がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある	該当する場合 は、転倒リスク あり
閉じこもり	問2(6) 週にどのくらい外出して いますか。	1. ほとんど外 出しない 2. 週1回	該当する場合 は、閉じこもり リスクあり
口腔機能	問3(2) 半年前に比べて固いもの が食べにくくなりましたか。	1. はい	3項目中2つ以 上該当する場合 は、口腔機能低 下のリスクあり
	問3(3) お茶や汁物等でむせるこ とがありますか。	1. はい	
	問3(4) 口の渇きが気になります か。	1. はい	
低栄養	問3(1) 身長と体重をお書きくだ さい。	BMI 18.5未 満	2項目中どちら も該当する場合 は、低栄養状態 のリスクあり
	問3(7) 6か月間で2～3kg以 上の体重減少がありました か。	1. はい	
認知機能	問4(1) 物忘れが多いと感じます か。	1. はい	該当する場合 は、認知機能低 下のリスクあり

うつ傾向	問7（3） この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい	2項目中1つ以上該当する場合はうつ傾向のリスクあり
	問7（4） この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい	